

2023 北海道レフェリーアカデミー第6回 事業報告

報告者：丑屋幸大(苫小牧)

【日時】2023年9月9日(土) 9月10日(日)

【場所】帯広北高校 清流の里福祉センター 帯広の森球技場

【参加者】審判員：丑屋幸大 及川凌夢 岩本駿士

インストラクター：古曾部統太郎氏(RAM) 今川一輔氏(RAI)

伊藤真也氏(RAI) 岡田渉氏(RAI) 平石暁史氏(RAI)

オブザーバー：森英樹氏 村山尚哉氏 山下浩司氏 柴田航希(十勝地区審判員)

【研修テーマ】臆することなく

<9月9日(土)>

12:45 集合 帯広北高校

13:00 プラクティカルトレーニング

① FK マネジメント 担当 INS：山下氏

FK 時に行うマネジメントの順序や考慮すべき点を実践形式で整理することができた。

② 中盤エリアでのポジショニング 担当 INS：平石氏

アングルを工夫することで全体を監視することができ、次の争点へのポジショニングをスムーズにとることができた。

トレーニングにご協力いただいた帯広北高校サッカー部の皆さん、ありがとうございました！



15:00 Physical トレーニング Endurance Training & High Intensity Training 担当：岡田 INS
Interval、Speed Endurance、Endurance の3つのテーマで3種目のトレーニングを事前に計算した心拍数をターゲットとして行った。



16:30 移動 清流の里福祉センター

16:45 審判員プレゼンテーション 全国研修報告会 担当：岩本駿士

17:20 RAI 講義 「実録！マンマネジメント」 担当 INS：今川氏

今川 RAI の実体験を交えた講義内容で、言葉の選択、伝え方を学ぶことができた。1種の試合では、年齢が上の競技者が多く、言葉の選び方次第でゲームコントロールが難しくなることもあるため、大変なためになった。この講義での学びや気づきを選手とのコミュニケーションに活かすだけでなく、日常生活でも活用していきたい。

18:30 諸連絡・解散



<9月10日(日)>

8:30 集合 帯広の森球技場

10:00 審判実技① 道東ブロックリーグ第10節 クラップス vs FC網走

主審：丑屋幸大 A1：及川凌夢 担当 INS：山下氏

<INS分析>

○様々なステップワークを使うことで見る角度を変え、情報を多く得ようとしていました。

○2分をはじめ、スローインの場所を示すときのジェスチャーや声掛けが分かりやすい。

○ファウルを犯した選手や不満を示す選手に対してしっかり対応することができていました。

(まとめ) バックステップやサイドステップなど様々なステップと、首を振ることによって多くの情報を得ようとする工夫が見て取れました。また、不満を述べる選手に対しても毅然とそして誠実に対応しており、その姿勢は今後も継続して下さい。課題点としては、プレーの妨げになる場面が多く見られました。中から見ようとする事で選手が使いたいスペースやパスコースにいました。争点・副審・ボールの受け手を同一視野に入れるために外から見てみて下さい。また、得た情報(ボールホルダー、レシーバー、スペース、ディフェンス、自分の背後の状況)をどう処理していくかでポジショニングも変化します。そしてパスコースに入ってしまった時ではなく、その前の動きとタイミングを意識し、工夫することで巻き込まれることも少なくなります。次回以降は、臆することなく丑屋さんの持ち味を前面にだして、是非チャレンジして下さい。

12:30 審判実技② 北海道サッカーリーグ第13節 十勝スカイアース vs 札幌蹴球団

主審：岩本駿士 A1：岡田渉氏 担当 INS：平石氏

<INS分析>

○84分 十勝にアドバンテージを適用。その直後にチャンスとなり得点。効果的で的確な判断。

○7分 十勝のスローイン時に場所を指示。「ありがとうございます」と声かけ。良いマネジメント。

○64分 札幌27が十勝11をプッシング。タクティカルの反スポで警告を与える。正しい判断。

(まとめ) 北海道リーグの主審が初めての経験にもかかわらず、勇気をもってチャレンジすることができていました。事象を丁寧にかつ懸命に見極めようという気持ちや意気込みが伝わってきました。警告に値するプレーにも臆することなく良い判断で警告を与えていました。(44分、65分、90+5分)。しかしながら、90+1分の警告については、主審の対応次第で防ぐことができた警告だったと思いますので、もう一度ファウルが起こってからの手順や選手と主審との間にある捉え方のギャップ(温度)を見直してください。また、FKマネジメントの際に不自然なポジションを取るのを修正も必要です。

今日の試合で一番良かったのはファウルを素直にファウルとして笛を吹いたことです。選手との間にギャップもなく外から見ても説得力があるレフェリングでした。今日の成功体験を是非今後も生かしてほしいと同時に、今日できたからと言って次がうまくいくとは限らないので、レフェリングの引き出しをもっともっと増やすことができるよう、引き続き研鑽に励んでほしいと思います。



15:00 振り返り

15:40 諸連絡・解散